

インクジェットプリンタ

**HITACHI**  
Inspire the Next

日立産業用 IJ プリンタ

# インクラインアップのご案内



IJプリンタとベストコンビネーション。



<https://www.hitachi-ies.co.jp/ijp>

2019年7月

Ink  
line-up

さまざまな印字用途に  
最高のパフォーマンスを!



日立IJプリンタから最高のパフォーマンスを引き出すために。

そのキーテクノロジーとなるのがインク技術です。

私たちは印字性能を決定する重要な技術としてインクを位置付けており、

材料を高性能化したり、成分を工夫したりすることで、信頼性の高い印字を実現できると考えています。

このため日立はインク技術をさらに飛躍させ、

多種多様なインクバリエーションの開発・生産に積極的に取り組んでいます。

# 多彩なインクバリエーションにより 特長ある印字に対応します。

## 高付着

金属 紙 プラスチック

JP-K72、1072K、JP-K28、1028K、JP-K88、1088K、  
JP-K114、1114K、1304K、3127K、4136K、4146K

PP(ポリプロピレン)製容器、PE製容器、2ピース缶、3ピース缶などの  
容器を用いた、食品、薬品、化粧品などの分野に適しています。



## 有機則非該当インク

金属 紙 プラスチック

JP-K112、3112K、3127K、3111K、3128FA、3131K、4136K、4146K

MEKを含んでおらず、有機則(有機溶剤中毒防止規則)非該当です。



## 速乾性

フィルム

JP-K86、2086K

ピロー包装機など速乾性が必要な用途や、食品包装フィルムなどに  
適しています。

経過時間[s]	2086K	従来品
0.3	19.12.16	19.12.16
0.5	19.12.16	19.12.16
1.0	19.12.16	19.12.16

## 耐アルコール性

フィルム プラスチック

JP-K87、1087K、4136K

食品包装、容器をエタノールで洗浄する工程に適しています。  
エタノールによるふき取り、消毒に強いインクです。

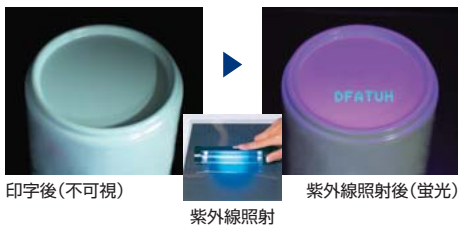
状態	1087K	従来品
印字直後	2019.8.18 QPS	2019.8.18 QPS
アルコール ふき取り	▼	▼
アルコール ふき取り後	2019.8.18 QPS	2019.8.18 QPS

## 紫外線発光

缶 プラスチック

JP-F92、1092F、3128FA

製造管理用で紫外線照射で青色に発光します。  
製造管理などに適しています。



## カラーインク

金属 紙 プラスチック

JP-R27、1027R、JP-B85、1085B、JP-B95、1095B、  
JP-G27、1027G、JP-Y118、1311Y

紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着します。



## 紫外線硬化

電子部品

1065K

基板・電子部品などに向いています。  
紫外線により硬化し、耐油性・耐溶剤性を発揮します。



## アルカリ消去

金属 紙 ガラス

JP-K70、3111K

## 柔軟性

プラスチック

JP-K61、1061K、1304K

## 耐転写

プラスチック 鋼板

JP-K33、1033K、1119K

## 耐煮沸性

フィルム 金属 ガラス

JP-K106、1106K、1121K

# 用途に応じてさまざまなタイプのインクを用意しています。

労働安全衛生法 有機則*1)	色	インク型式		補液液型式		印字対象物	労働安全衛生法 特化則*2)	特長	乾燥時間 (秒、20℃時) *3)	耐光性(太陽光相当)	
		注ぎタイプ	カートリッジタイプ	注ぎタイプ	カートリッジタイプ					照射時間	状態
非該当	黒	JP-K112	3112K	TH-TYPE F	S300F	汎用	非該当	にじみやすいアルミ缶印字でも視認性良好	2~5	1年	判読可
		—	3127K	—	S3127	プラスチック	非該当	PP、PEに高付着(JP-K112、3112K比)	2~5	1年	判読可
		—	3111K	TH-TYPE F	S300F	プラスチック、金属	非該当	SUS製樽、プラスチック容器(PET、ポリカーボネートなど)へ印字後、アルカリ洗浄で消去可能	3~5	1年	判読可
		—	3131K	—	S3131	プラスチック	非該当	硬質PP、PEに高付着(3127K比)	2~5	1年	判読可
		—	4136K	—	S4136	プラスチック	非該当	消毒用エタノールが印字に触れても消えない	1~5	1年	判読可
		—	4146K	—	S4136	プラスチック	非該当	ガラス・軟質フィルムに対し高付着。有機則非該当。	1~5	1年	判読可
	無色	—	3128FA	—	S3127	プラスチック	非該当	製造管理用(紫外線照射で青色発光)、有機則非該当	2~5	1か月	判読可
該当	黒	JP-K67	1067K	TH-TYPE A	S100A	汎用	非該当	使用温度範囲広い、紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着	1~5	1年	判読可
		JP-K72	1072K	TH-18	S1018	プラスチック	非該当	使用温度範囲広い、プラスチック全般、PP(ポリプロピレン)製容器に高付着	1~5	1年	判読可
		JP-K69	1069K	TH-69	S1069	汎用	非該当	使用温度範囲広い、紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、クロム不使用	1~5	—	退色せず
		JP-K87	1087K	TH-18	S1018	汎用	非該当	食品包装、容器をエタノールで洗浄する工程に適す	1~5	1年	判読可
		JP-K28	1028K	TH-TYPE A	S100A	プラスチック、缶	非該当	2ピース缶、3ピース缶、プラスチックでワックス残存に適す	1~5	1年	判読可
		JP-K33	1033K	TH-18	S1018	プラスチック、鋼板	非該当	プラスチック(PET、ナイロンなど)、鋼板の耐転写性、速乾性良好	1~5	1年	判読可
		JP-K61	1061K	TH-23	S1023	プラスチック	非該当	未処理OPP、CPPフィルムの耐揉みほぐし性良好	1~5	1年	判読可
		JP-K62	1062K	TH-18	S1018	ガラス	非該当	印字後冷蔵保存される食品・飲料容器など(耐結露性良好)	1~5	1年	判読可
		—	1065K	TH-65	S1065	電子部品	非該当	基板電子部品など(紫外線により硬化し、耐油・耐溶剤性良好)。1065Kは「毒物および劇物取締法」の規制によりカートリッジ式JPのみでご提供となります。*5)	硬化10~13 *4)	1年	判読可
		JP-K70	—	TH-70	—	ガラス	非該当	ガラス容器(飲料、瓶詰め)、弱アルカリで印字の消去が可能	1~5	6か月	判読可
		JP-K88	1088K	TH-71	S1071	プラスチック	非該当	PE(ポリエチレン)製容器に高付着	1~5	1年	判読可
		JP-K106	1106K	TH-18	S1018	汎用	該当	食品包装・容器で加熱殺菌工程に適す	2~5	—	退色せず
		JP-K114	1114K	TH-18	S1018	汎用	非該当	PP、PE製容器、金属、ガラス、紙などに高付着	1~5	1年	判読可
		JP-K117	1117K	TH-18	S1018	電子部品	非該当	印字後、ワニス浸漬しても印字にじみなし	1~5	1年	判読可
		—	1119K	TH-18	S1018	金属	非該当	鉄鋼に対して、高耐擦性、耐熱圧転写性、高黒色	1~5	1年	判読可
		—	1304K	TH-18	S1018	プラスチック	非該当	プラスチック、特にPP・PEフィルム(軟質)に対して高付着、高黒色	1~5	1年	判読可
		—	1121K	TH-84	S1084	汎用	非該当	食品包装・容器で加熱殺菌工程に適す。特化則非該当	1~5	—	退色せず
		—	1126K	TH-18	S1018	電子部品	非該当	ハロゲンフリー(IEC規格対応)・クロムフリー・耐アルコール	1~5	1年	退色するが判読可
		JP-K86	2086K	TH-86	S2086	汎用	非該当	ピロー包装機など高速乾性が必要な用途、食品包装フィルムなど	0.3~0.6	1年	判読可
	赤	JP-R27	1027R	TH-TYPE A	S100A	汎用	非該当	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、赤色	1~5	8か月	判読可
	青	JP-B85	1085B	TH-TYPE C	S100C	汎用	非該当	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、青色	1~5	1年	判読可
		JP-B95	1095B	TH-18	S1018	汎用	非該当	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、クロム不使用、濃青色(B85比)	1~5	1か月	判読可
	—	1406B	—	S1406	高隠ぺい青	非該当	高い隠ぺい力を有する青インクで、黒色系のワークへの印字に適合。(白顔料を含有するため、顔料機での運用必須)	1~5	1年	退色するが判読可	
	緑	JP-G27	1027G	TH-TYPE A	S100A	汎用	非該当	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、緑色	1~5	8か月	判読可
	白	JP-W73	—	TH-73	—	汎用	非該当	速乾性、暗色の部品(自動車部品・電気電子部品など)に適す	5~7	—	退色せず
		JP-W89	—	TH-73	—	汎用	非該当	速乾性、暗色の部品(自動車部品・電気電子部品など)に適す。高白色(W73比)	5~7	—	退色せず
JP-W93		—	TH-19	—	電子部品	非該当	基板・電子部品など(紫外線により硬化し、耐油性・耐溶剤性を示す)	硬化3~15 *4)	—	退色せず	
—		1406W	—	S1406	プラスチック	非該当	PP・PE高付着白顔料インク。(65マイクロン・周波数:68.9kHz。JP-W89と比較し約10%印字スピード向上)	1~5	—	退色せず	
—		1129W	—	S1018	電線、ケーブル	非該当	可塑性含有PVCに対し高付着。耐水性および耐テープ剥離性および乾燥性良好(JP-W96比較)。	1~5	—	退色せず	
黄色	JP-Y118	—	TH-84	—	汎用	非該当	黒、暗色のワークに高視認性	1~5	1年	判読可	
	—	1311Y	TH-18	S1018	汎用	非該当	黒、暗色のワークに高視認性。軟質プラスチックへの印字に適する。	1~5	1年	判読可	
赤紫	JP-T71	1071T	TH-71	S1071	汎用	非該当	熱水・蒸気殺菌時に赤紫→青に変色、レトルト食品・缶詰製造時の工程チェック用	1~5	6か月	判読可	
無色	JP-F92	1092F	TH-18	S1018	汎用	非該当	製造管理用(紫外線照射で青色発光)、レトルト後も不可視	1~5	1か月	判読可	

注1) JP-T71、1071T、JP-B85、1085B、3111K、1406W、1406B、JP-K70、1121K、JP-K112、3112K、3131K、3127K、3128FA、4146Kは吸湿しやすいインクのため、清浄なドライエアーを本体裏面の「エアパー  
ジ用エア接続口」に供給してください。詳細は取り扱い説明書をご覧ください。

注2) すべてのインクのRoHS指定物質濃度は、Cd<100ppm、Pb、Hg、Cr(VI)、PBB、PBDE<1000ppmとなっています。

注3) 適用機種は当社営業窓口にご相談ください。

注4) 使用温度は適用機種により異なりますので、当社営業窓口にご相談ください。

注5) 詳しいインク成分に関しては、弊社ホームページより安全データシート(SDS)をダウンロードしていただくか、当社営業窓口へお問い合わせください。

\*1) 有機則は有機溶剤中毒予防規則のことで、有機則該当インクは、第2種有機溶剤等を含有し、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則(労働省令36号)の対象となり、これによる管理が必要です。

\*2) 特化則は特定化学物質障害予防規則のことで、特化則該当インクは、第2類物質特別有機溶剤等を含有し、労働安全衛生法の特定化学物質障害予防規則(労働省令39号)の対象となり、これによる管理が必要です。

\*3) 乾燥速度は印字物の形状、材質、周囲環境などにより異なりますのでご注意ください。

\*4) 硬化条件例:メタルハライドランプ(2kW)、ランプ発光長250mm

本インクは開封期限が短いインクです。また、受注生産品のため納期がかかります。詳しくは当社営業窓口へお問い合わせください。

\*5) 成分の一部が「毒物および劇物取締法」上の「毒物」に該当するため、1065KをJP充填時にキャップを開栓する注ぎ式JP(例:RX2型)でご使用になられず「毒物および劇物取締法」の規制対象となります。詳しくは当社営業窓口へお問い合わせください。



## ランニングコストを調べたい方は…

お客さまの下記の使用条件をご確認いただき、当社営業窓口にご連絡ください。ランニングコストを計算いたします。



### 安全に関するご注意

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- インクおよび補液が第2種有機溶剤を含有する場合、労働安全衛生法の中の有機溶剤中毒予防規則（労働省令36号）の対象となり、これによる管理が必要です。
- インクおよび補液が第2類物質特別有機溶剤を含有する場合、労働安全衛生法の中の特定化学物質障害予防規則（労働省令39号）の対象となり、これによる管理が必要です。
- インク、補液類は労働安全衛生法やPRTR法に基づく扱いが必要です。（PRTR法：化学物質排出把握管理促進法）  
取り扱い、使用に際しては、安全データシート（SDS）をお読みください。  
SDSは、当社ホームページからダウンロードいただくか当社営業窓口にお申しつけください。
- インクなどの廃液、それらをふき取ったワイプ紙や空容器は引火物です。これらは一般のごみ処理はできません。  
廃掃法に従い、適切に処理を行うか産業廃棄物業者に運搬または処分を委託してください。
- IJプリンタ周辺には、火気源を置かないでください。装置内、保管用、拭き取ったものなど、すべてのインク、補液の管理に関しては、消防法の「危険物第4類各成分」保管基準に従ってください。
- このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載しています。

■IJプリンタをよりよい状態でお使いいただくために、装置の定期点検のための保守契約をされることをおすすめします。詳しくは当社営業窓口へお問い合わせください。  
■IJプリンタダウンタイムにより発生した生産損失および納入機器の故障や誤作動による物的損失につきましては、保証外とさせていただきます。

## 株式会社 日立産機システム

### お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	(03) 4345-6047
関東地区窓口	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	(03) 4345-6045
北海道支社	〒063-0814 北海道札幌市西区琴似四条一丁目1番30号	(011) 611-1224
東北支社	〒985-0843 宮城県多賀城市明月二丁目3番2号	(022) 364-2710
福島支店	〒963-8041 福島県郡山市富田町西32番2号	(024) 961-0500
北陸支社	〒939-8213 富山県富山市黒瀬81番1号	(076) 420-5711
中部支社	〒456-8544 愛知県名古屋市中区熱田区桜田町16番17号	(052) 884-5811
関西支社	〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町一丁目2番1号	(06) 4868-1230
中国支社	〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰一丁目9番20号	(082) 282-8112
四国支社	〒761-8012 香川県高松市香西本町142番地5号	(087) 882-1192
九州支社	〒812-0051 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭五丁目9番26号	(092) 651-0141
産業システム事業部	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	(03) 4345-6027
海外営業企画部	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	(03) 4345-6529

### 全国サービスステーション・ネットワーク

<b>北海道地区</b>	<b>中部地区</b>
北海道 (011) 611-4121	中部 (052) 884-5812
<b>東北地区</b>	静岡 (0545) 55-3260
東北 (022) 364-4121	<b>近畿地区</b>
秋田 (018) 846-9933	大阪 (06) 4868-1201
八戸 (0178) 41-2711	京都 (075) 661-1081
福島 (024) 961-0500	滋賀 (0748) 46-6606
<b>関東・甲信越地区</b>	姫路 (079) 234-9571
東京 (047) 451-3111	<b>中国地区</b>
茨城 (03) 5245-0358	中国 (082) 282-8111
埼玉 (048) 728-8521	岡山 (086) 263-3022
栃木 (0285) 25-3536	山陰 (0854) 22-5552
高崎 (027) 377-9902	山口 (0835) 23-7705
茨城 (029) 273-7424	<b>四国地区</b>
筑波 (029) 826-5851	四国 (087) 882-1212
横浜 (045) 540-2731	<b>九州地区</b>
新潟 (025) 274-6914	九州 (092) 651-0131
甲信 (0266) 56-6222	北九州 (093) 582-1175
<b>北陸地区</b>	南九州 (099) 260-2818
北陸 (076) 420-5411	

<https://www.hitachi-ies.co.jp>

信用と行き届いたサービスの当社へ